

子育て対談



京都市長 門川大作
「どうなの? どうなの? 門川市長!」
京都のこれから発信局

京都市長
門川大作

つるの剛士
タレント・歌手



男性の育休取得の先駆けに

門川 5人のお子さんをお持ちのつるのさん。20年近く子育ての最前線におられ、育児休業も2度取られたんですね?

つるの 初めて取ったのが13年前です。音楽ユニット「羞恥心」の活動などでも忙しい時期で、4人目がお腹にいる妻とけんかが絶えなくて。その時ふと思いついたのが、「家がおろそかになると必ず仕事で失敗する」という父の言葉。急な育休宣言で周りを驚かせてしまいました。2カ月休ませてもらいました。ぶっちゃけ、育休中は仕事より大変でしたけど。

門川 まさにイクメンの先駆者ですね。私も4人の子育てを経験しましたが、当時はまだ育休制度がなく、共働きの妻もすぐ復帰。でも、子どもをどこにも預けられず、同じ境遇の親同士で一軒家を借りて「共同保育所」をつくったことも。今、京都市では、多くの方々のお力添えで保育所等待機児童「9年連続ゼロ」を達成中。隔世の感がありますね。

つるの 本当ですね。僕も長男が生まれた頃は、男子トイレにおむつ交換台なんてありませんでしたから。今は男性が子育てに関われる環境は飛躍的に整ってきただけじゃないですか。

「はぐくみ文化」が息づく京都

門川 今日の会場（立誠ガーデンヒューリック京都）は、元・立誠小学校。明治維新で人口が激減、都市存亡の危機にあつた京都で、未来のためには教育が大切だと考えた地域の人々が、お金を出し合つてつくり、運営された学校の一つです。そんな背景を持つこの場所は、ホテルのほか、芝生広場、図書館、飲食店などもあり、地域の憩いの場に。絵本の読み聞かせのほか、地域の皆さんの手で生け花のワークショップなども開かれ、子どもたちも楽しんでます。

つるの いいですね。これからは「子どもが真ん中」の社会にしていけることが大切な気がします。生け花など日本文化のほか、まちには大工さんやお花屋さん、いろんな職業の方々がいて、子どもたちにとっては、みんな「先生」。そんな方たちから学ぶ体験ができれば面白いと思います。

門川 そうですね。市立の小・中学校では、全校で茶道や華道を体験する時間があり、教えてくれるのは地域の方々です。また、2万人を超える人々が、子どもたちの登下校などの「見守り隊」として登録。地域全体で子どもを守り、育てる「はぐくみ文化」は京都の伝統ですね。

つるの 京都すごいなあ。やはり日本を中心ですね。

子育て世代も楽しく暮らせるまちづくり

つるの この前、6歳の末っ子を連れて、太秦の映画村に行ってきたところです。大好きな「こつてり」ラーメンも堪能しました（笑）。

門川 私も大好きです。次回、京都に来られた際のお薦めは梅小路公園。平清盛の屋敷跡は広々とした芝生公園に。蒸気機関車が走るJRの鉄道博物館や水族館もあり、夏はプール、冬場はスケートも。



タレント・歌手 つるの剛士さん
昭和50年福岡県生まれ。2男3女の父。TV『ウルトラマンダイナ』や音楽ユニット「羞恥心」で脚光を浴びる。平成21年ベスト・ファーザー賞受賞。令和4年幼稚園教諭免許取得。

京都市長 門川大作
昭和25年京都市生まれ。3男1女の父。京都市教育委員会に長年勤務し、同教育長を経て平成20年第26代京都市長に就任。現在4期目。

つるの めっちゃ、うらやましい!

門川 一方で、若い方々からは京都に住みたたくても土地や住宅が高くて...という声も。そこで、地域の特性を踏まえた都市計画の見直しに向けた取り組みのほか、管理が優良な中古マンションの活用や町家の再生などで、若い人たちが住みやすく、働きやすいまちづくりを進めています。

つるの 町家がIT企業のオフィスになったりもしていますよね。

門川 はい。京都では、民間の力もお借りしつつ、「若い世代にも魅力あるまち」へ力を尽くしていきます。子育てという大切な経験を発信し続けるつるのさん、ぜひまたお話を聞かせてください。本日はありがとうございました。

つるの こちらこそ、またお願いします! 歴史が深くポテンシャルがすごい京都の挑戦、期待しています!

読者プレゼント

つるの剛士さんのサイン入り色紙を3名の方に!

応募はこちらから



全文掲載のHP版もこちらから



撮影協力:立誠ガーデンヒューリック京都/(一社)文まち